



環境活動紹介 環境アニュアルレポート2022

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

2022年7月

• 環境方針	• • • P 3
• 環境への取り組み	• • • P 4
• 会社概要	• • • P 5
• 製品概要（ラインナップ）	• • • P 6
• 環境経営推進体制と環境活動	• • • P 7
• 環境ISO認証	• • • P 8
• 環境経営活動状況（製品活動）	• • • P 9
• 環境配慮型製品の創出	• • • P 10
• 製品リサイクルへの取り組み	• • • P 11
• グリーン調達の推進	• • • P 12
• 環境経営活動状況（事業所活動）	• • • P 13
• 環境負荷低減活動（エネルギー使用量／廃棄物排出量）	• • • P 14、15
• SDGsコンテンツ 社内情報発信	• • • P 16
• 従業員への啓発・教育活動	• • • P 17
• 社会貢献活動（地域との共同活動）	• • • P 18

当社は、環境経営を自発的に前進させ、環境に配慮した事業活動を実践していくために、「継続的な改善」「ライフサイクル」「サステナブル(持続可能)」「社会とのコミュニケーション」「環境意識」を重要なキーワードとして位置づけ環境方針を定めております。

環境を念頭にした日常業務の積み重ねによって、環境に配慮した事業活動の実践につなげ、環境配慮型の製品、サービスの創出に努力してまいります。

【環境理念】

当社は、環境問題を経営の重点課題として位置づけ、環境配慮型の製品やソリューションの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

【行動指針】

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善により、環境への負荷を低減する事業活動を目指します。
2. 製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に努め、環境に配慮した製品やソリューションの提供を行います。
3. 汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び適応、生物多様性及び生態系の保護に取り組みます。
4. 環境に関する情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。
5. 環境法規制の順守はもとより、環境に関する要求や要請にも積極的に取り組みます。
6. 環境意識を高揚する啓発や教育を行い、持続可能な社会に貢献する人材を育成します。

制定 2022年 6月21日

シャープNECディスプレイソリューションズは、持続可能な社会作りに貢献する企業を目指し、環境への取り組みを行っております。

当社のディスプレイ商品と映像ソリューションは、交通機関、商業施設、オフィスや教育現場、映画館という身近なシーンから、安全で快適な生活を支えるインフラを見守るセーフティ向けまで、生活のさまざまな場面で使用されています。

「省エネで明るく大画面」「長寿命・メンテナンスフリー」「小型・軽量」というお客様のご要望と、環境配慮型の製品開発を両立させるべく、当社では、低消費電力の追求、レーザー光源の搭載、部品を再利用しやすい設計など、環境配慮型の技術を積極的に採用しています。

また、従業員はオフィスにおける節電・省エネ、廃棄物の分別、会議のペーパーレス化などによりリデュース・リユース・リサイクルを促進するとともに、当社の主要拠点である湘南テクニカルセンター近隣の清掃を行うこと等を通じ、環境意識のさらなる啓発・定着にも取り組んでいます。

これらの継続的な環境活動への取り組みが評価され、本年5月には湘南テクニカルセンターの所在地である神奈川県大井町において「おおいまちSDGsパートナー」の認定を受けました。

当社は2020年11月にシャープとNECの合併会社として「シャープNECディスプレイソリューションズ」に生まれ変わりました。

長年NECグループで培ってきた高い技術力に加え、シャープグループの推進する「グリーンプロダクト」コンセプトに基づき、パートナー企業やお客様とともに、環境性能面でも他社に先んじた製品やソリューションの開発に従来以上に注力することで、今後も社会に貢献してまいります。

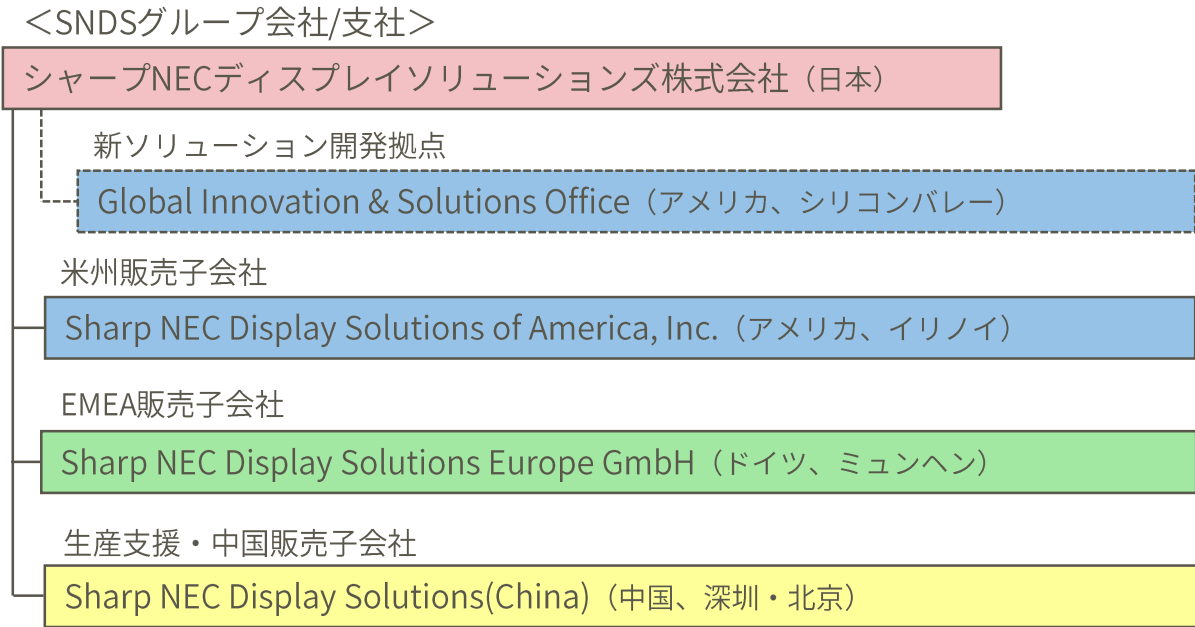
シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社
環境担当執行役員 相澤 光紀



清流酒匂川と湘南テクニカルセンター

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

事業内容	プロジェクター／ディスプレイモニター等の映像表示装置 および映像表示ソリューションの設計、開発、製造、販売、 保守
本社所在地	東京都港区三田一丁目4番28号（三田国際ビル）
開発/スタッフ	神奈川県足柄上郡大井町西大井686-1 （NEC湘南テクニカルセンター）
資本金	30億円（シャープ、NEC出資）
従業員	424名（国内） 833名（世界連結）（2021年度末）
売上高	671.4億円（2021年度 世界連結）



※2022年7月時点

製品概要（ラインアップ）

当社製品の一部をご紹介します。詳しくは当社Webページ（<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>）をご覧ください。



スタンダードモデル

コンパクトさを追求しながら、画質や省エネにもしっかり配慮
接続・設置・調整・操作性に優れたモデル。



超短焦点モデル

投写距離を十分とれない小さな会議室や教壇スペースでも、
大画面投写を可能にする超短焦点プロジェクター。



プロフェッショナルモデル

常設・可搬両用で幅広い設置ニーズに応え、
明るい会議室や教室でも使いやすい、大空間対応多機能プロジェクター。



DLP Cinema®プロジェクター

映像の質感までを伝える表現力、プロの現場における確かな信頼性で、
さまざまなシアターに対応可能なDLP Cinema®プロジェクター。



会議・ミーティング向け／デジタルサイネージ向け パブリックディスプレイ

さまざまな業種・用途で威力を発揮し、
高い信頼性と耐久性を誇る大画面ディスプレイ。

LEDマルチスクリーン

明るい環境下でも色鮮やかで視認性が高く、
縫ぎ目のないシームレスな大画面マルチスクリーンを構成する
屋内用／屋外用フルカラーLEDディスプレイ。

ITディスプレイ

先進のエコロジーと使いやすさを両立。
利用シーンと用途に合わせ、充実のラインアップ。

医用ディスプレイ

診療支援から電子カルテまで医療現場の期待に応える。
高精細で高品位な医用ディスプレイ。

ビジネスPCセクション

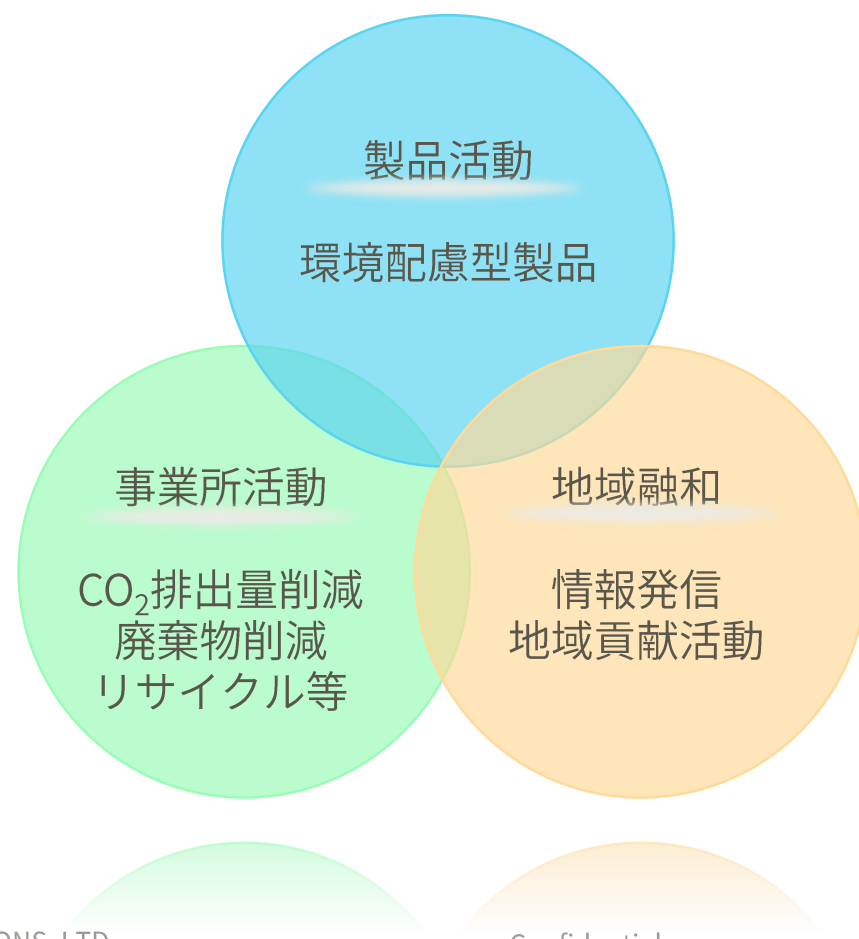
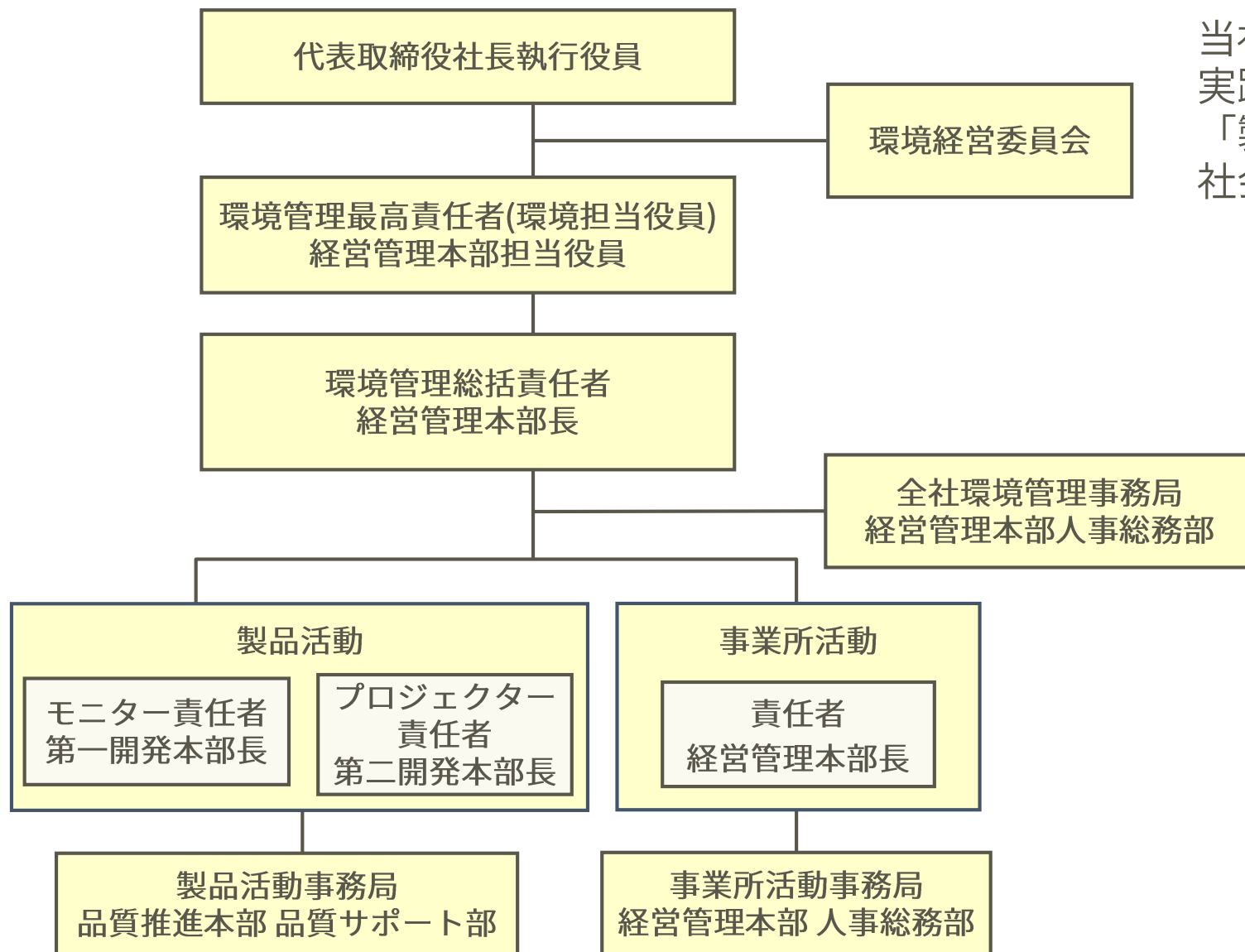
NECのビジネスPCセクションメニューで選択可能な
液晶ディスプレイを豊富にご用意いたしました。

特殊用途向け（15型）

セキュリティ、工作機器監視表示機、産業機器監視表示機、情報端末、
会計端末、金融端末など、さまざまなニーズに応える産業用ディスプレイ。



当社では、環境方針（環境理念・行動指針）を実践する体制として、社長のリーダーシップのもと、「製品活動」と「事業所活動」を軸に持続可能な社会実現への貢献に向けて取り組んでいます。



当社は、環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO 14001を取得しています。

2020年度にNECグループから離脱後、外部認証機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査基準に基づく登録分割審査を受審し、当社単独で認証を取得致しました。

今後も同機関の定期監査を毎年受審し、環境マネジメントシステムの前進に取り組めます。

《当社の環境ISOの変遷》

- 1997年 NEC湘南テクニカルセンターとしてISO 14001 認証取得
- 2007年 NECディスプレイソリューションズとしてISO 14001 認証更新
- 2017年 改正版ISOへの改訂
- 2018年 登録更新
- 2020年 シャープNECディスプレイソリューションズとしてISO 14001 認証取得



当社の製品活動においては、主力商品であるモニター／プロジェクターの開発・生産において環境配慮型製品としての開発のため、2021年度は以下の目標に取り組みましたが、「性能電力70%削減」の目標に対して、わずかに未達でした。
2022年度の目標は、製品環境性能を7つの指針から包括的に定量評価するシャープのGP（グリーンプロダクト）ガイドラインに基づいて、製品設計を推進することと致しました。

指標	活動項目	2021年度 目標と実績	指標	活動項目	2022年度 目標
気候変動 対策の推進	消費電力低減による CO ₂ 排出量削減	性能電力 70%削減 (2013年度製品比) ⇒ △ 実績 67.3%削減 (内訳：モニター：64.8%、プロジェクター：69.7%)	環境に配慮した製品活動の 推進	環境配慮型 設計を推進	GPガイドラインに基づくGP率：85%以上 下記の指針のうち、対象製品に該当する評価 項目から達成度を評価 ※GPガイドラインに定める7つの指針 1.省エネ/創エネ 2.省資源化 3.リサイクル性 4.安全に使用・処理 5.グリーンマテリアル/デバイスを使用 6.電池・包装・取説等の環境配慮性 7.環境配慮性性能/情報を見える化
製品の環境 性能の底上げ	「エネルギースタープログラム」 取得拡大	新機種におけるエネルギースタープログラム 取得率90%以上 ⇒ ○ 実績 100%			
規制対象物質含 有品の適用によ るコンプライア ンスリスク低減	米国TSCA規制対応 準備及び適合	量产品及びサービス部品における規制対象の既存 品のサプライヤー調査および対応フォローアップ、 新製品の適用状況確認の完了 ⇒ ○ 対応完了	新規禁止物質 含有の撲滅	法的要求事 項の順守	欧州REACH新規禁止物質：C9-C14 PFCAs スイスORRChem条例新規禁止物質：PFHxS 非含有の確認及び、代替化100%完了

注) ○：達成度100%以上、△：達成度80%以上、×：達成度80%未満（ISO14001における不適合：目標達成率80%未満（評価：×））

当社では、NEC独自の環境基準に基づく製品アセスメントの実施により、環境配慮型製品を設計・開発しています。今後は、シャープのGP（グリーンプロダクト）ガイドラインに基づいた製品設計を推進致します。

■ディスプレイ製品の環境配慮設計

OLCD-AS271F



OLCD-M321



OLCD-E271F / LCD-E271F-BK



6 環境性

環境変化に対応し 省エネに配慮

省エネと映像演出にも活用できる

1 人感センサに対応

人の動きを感じて画面や音声を自動的にON/OFF。不要な電力の削減にも貢献します。カスタム設定では、表示コンテンツの切り替えや画面の輝度、音量の調節など細かな設定が可能です。

※オプションの人感センサ内蔵リモートコントロールキットが必要です。



人感センサの使用例

オートオフ設定



カスタム設定



周囲の明るさに合わせて
輝度を自動的に調節

2 外光センサモード

内蔵された外光センサが周囲の明るさを検出して、明るさに合わせて設定した輝度に自動的に調節します。周囲が明るい時、および暗い時のそれぞれの輝度を設定することにより、お使いの環境に適した輝度に自動的に調節できます。



外光が明るいときは
輝度も明るく、
暗いときは輝度も
暗く調節します。

入力信号がない時は、休止状態にする

3 パワーマネジメント機能

パソコンの入力信号がない時には、自動的に休止状態（パワーセーブ）にすることができ、無駄な電力をカットします。

4 CO2削減量表示

輝度設定を下げることによって削減された消費電力をCO2排出量（kg）に換算して積算表示。また、最大消費電力に対する現在の消費電力の割合を表示します。

- カーボンメータ（二酸化炭素削減量積算表示）
- カーボンフットプリント（消費電力割合表示）

★CO2削減量はOECD（経済協力開発機構）2008年EditionのCO2-電力変換率に基づいて算出しています。

NEC環境ラベル付と製品

5 NECエコシンボル

エコシンボルは先進性の維持や透明性の確保が条件となる。NECが独自に定めた環境配慮基準を満たす製品に付与する環境ラベルです。



■プロジェクター製品の環境配慮設計

OME / MCモデル



OPシリーズ



OUM(LED)モデル



環境性 低消費電力設計やオートエコモードを採用。環境負荷の低減に配慮しています。

ランプ交換時間の延長と省エネに貢献

1 エコモード※1

明るさを若干抑えることで、ランプの交換時間を延長。消費電力も低下させ、省エネや環境に貢献します。[エコモード2※2]の設定で、さらに節電できます。



※1: エコモードおよびエコモード2では明るさが低下します。
※2: 対応機種は、下記のモデル別機能対応表をご覧ください。

スタンバイ時の消費電力を削減

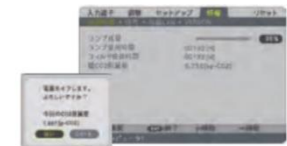
2 スタンバイモード「省電力」設定

スタンバイ時の消費電力を削減できます。天井吊り設置などで主電源をオフにできない場合に役立ちます。

CO2削減量をひと目で確認

3 カーボンメータ

エコモード設定で削減した消費電力をCO2（二酸化炭素）削減量に換算して表示。「見える化」することでエコ意識や省エネ活動へのモチベーションを高めます。



映像に合わせて自動的に節電

オートエコ

表などの白が多い画像などでは、明るく表示。夜空のような暗い画像では、見た目にはわからない程度に光量を自動的に調整し、消費電力を低減します。



●エコモード時、ブルーバック、無信号ガイダンスの表示では、最大の消費電力削減時よりも消費電力が低くなります。

財団法人 日本環境協会認定

4 エコマーク商品に認定

財団法人 日本環境協会から認定されるエコマーク基準に適合。環境負荷が少なく、環境保全に寄与すると認められています。

※対応機種は下記のモデル別機能対応表をご覧ください。

NEC環境ラベル付と製品

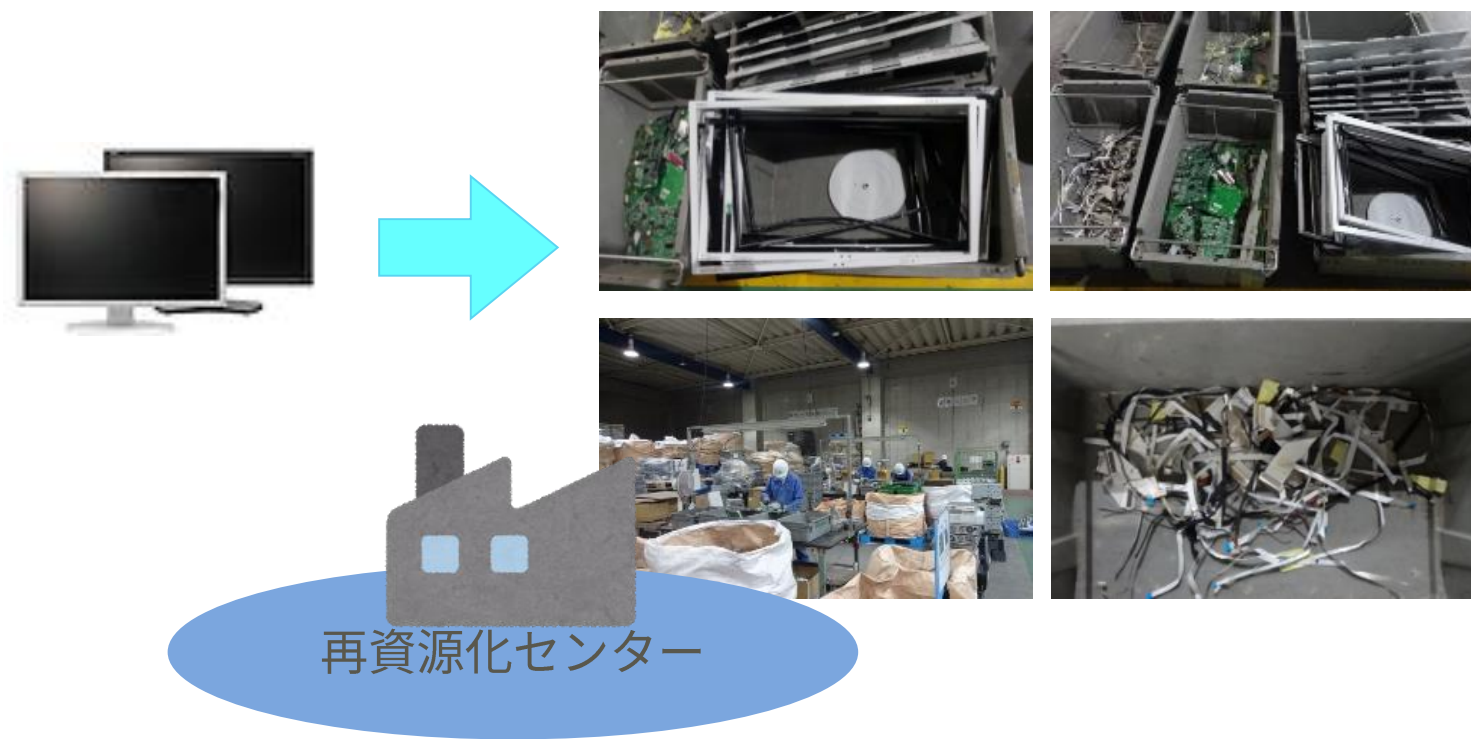
5 [エコシンボル]に認定

NECが独自に定めた環境配慮基準を満たす製品に付与する環境ラベルです。先進性の維持や透明性の確保が条件となっています。

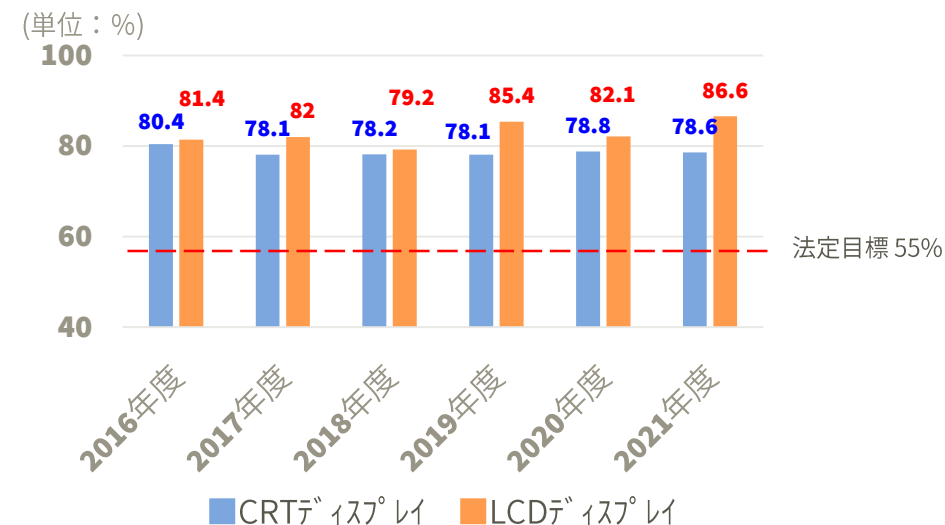


※上記機種は一例です。また、機種により備えている機能が異なります。詳細はカタログをご参照ください。
※上記機種は、GPガイドライン適用対象外です。

「資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）」に基づき、使用済み当社製品の回収と再資源化システムを構築し、リサイクルを推進しています。
不用品として回収された製品は、素材ごとに分解しリサイクルを行い資源の有効利用を行なっています。



当社製品の資源再利用率推移



CRT、LCDディスプレイは、資源再利用率として法定目標(55%以上)が定められております。

持続可能な社会を目指し、環境に配慮した製品を提供していくため、環境負荷の少ない材料・部品・製品等を優先的に調達・購入する「グリーン調達」に取り組んでいます。

「グリーン調達」推進のために、お取引先への協力依頼「グリーン調達ガイドライン」としてまとめ、環境への注意事項や使用禁止物質の徹底等を広く発信しています。

グリーン調達（お取引先向け）

お取引先の皆様へ

「グリーン調達ガイドライン」「製品含有化学物質の調達制限に関する基準」について、NECグループの基準を当社も使用しています。
尚、各基準の文章番号は次の通り読み替えをお願いします。

文書番号

グリーン調達ガイドライン
環管通 -02-044 ⇒ EKSS-013

製品含有化学物質の調達制限に関する基準
環管通 -04-006 ⇒ EKSS-011

 [グリーン調達ガイドライン（和文）](#)

 [グリーン調達ガイドライン（英文）](#)

 [グリーン調達ガイドライン（中文）](#)

 [製品含有化学物質の調達制限に関する基準（和文）](#)

 [製品含有化学物質の調達制限に関する基準（英文）](#)

 [製品含有化学物質の調達制限に関する基準（中文）](#)

＜米国TSCA規制への対応実績＞

2024年10月31日までを遵守期限とした米国TSCA規制の、PIP(3:1))成形品規制への対応・適合を実施しました。

当社においては、量産製品については2021年9月までに、サービス部品については2022年3月末までに、それぞれ新規規制物質を含有しない適合品への交換対応を完了し、適合を継続しています。

○対応状況

量産製品 ：規制適合部品への交換および、適合の継続
サービス部品：規制適合部品への交換対応完了

○当社ホームページにグリーン調達ガイドラインを掲載しております。
<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/supply/guideline.html>

環境経営活動状況（事業所活動）

当社では事業所における環境活動として、以下３点を中心に毎年活動目標を設定し取組を行っております。
 (1)エネルギー使用量の削減 (2)廃棄物排出量の削減 (3)環境イベントや社内教育の実施による従業員の意識啓発
 ２０２１年度は、(1)～(3)において、全ての目標を達成することが出来ました。

指標	活動項目	２０２１年度 目標と実績	２０２２年度 目標
気候変動 対策の推進	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量を１７年度実績より１２．１％削減する (目標：９３８．２t-CO ₂) ⇒ ○ 実績 ９１７．８t-CO ₂	２１年度実績から２．７％削減する 年間：９０２．９t-CO ₂ (上期：４１７．１t-CO ₂ 以下、下期：４８５．８t-CO ₂ 以下)
資源循環、 省資源の推進	廃棄物排出量の削減	２０年度実績以上に産業廃棄物の有価率を維持する (目標：１５．１％) ⇒ ○ 実績 ２４．１％	年間１８．１％以上の有価率 ※２６年度 有価率３０％達成に向け、 年度毎に段階的に有価率を向上させる
環境経営前進 への取り組み	経営トップがリードする 環境経営の実践 環境イベントの立案と実施 環境教育の実施と受講率１００％ 環境情報へのアクセス改善	環境経営トップメッセージの発信 ２０２０／２０２１年度環境アニュアルレポート発行 ISO14001:2015の認証継続 SDGsコンテンツによる環境意識啓発 環境教育の確実な実施 環境標準類の更新/見直し	経営トップメッセージの発信 マネジメントレビューの実施とレビュー内容の発信 環境意識向上のためのトピックス発信・イベント実施 環境標準類の更新/見直し 環境教育の計画的な実施 環境活動イントラの改変

※○：達成度１００％以上、△：達成度８０％以上、×：達成度８０％未満（ISO14001における不適合：目標達成率８０％未満（評価：×））

エネルギー使用量削減活動

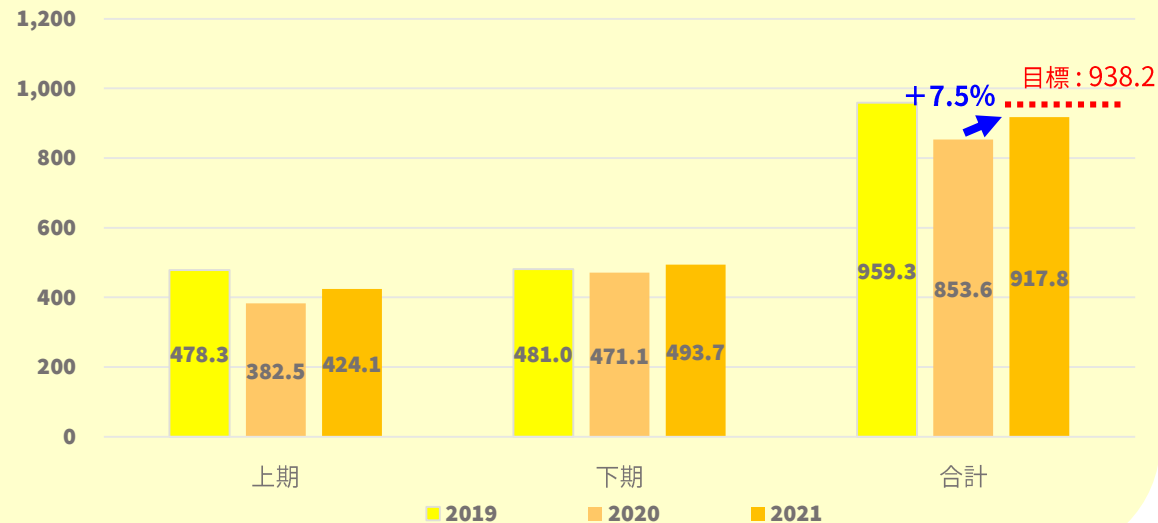
2021年度のCO₂排出量は、前年度実績を上回ったものの、目標以下の917.8t-CO₂に抑えることが出来ました。

まず、2020年度は、感染拡大による緊急事態宣言等が続いたことで、出勤率が定期的に低下し、事業所のエネルギー使用量が例年より低い水準でした。特に4・5月においては、前年度比で約40%減でした。

2021年度は出勤率が上昇したことで、エネルギー使用量が前年度より増加しました。一方で、7月からは、電力削減施策として、終業後の天井灯一斉消灯活動を開始しました。この結果、消し忘れ及び電力の余剰使用量を、2020年度比で約60%削減することができました。

エネルギー使用量

(単位：t-CO₂)



～活動例～

天井灯の一斉消灯活動

2021年7月より、天井灯の一斉消灯活動を開始しました。活動内容は、毎週金曜日と給与支給日に、通路を除く事務所フロアすべてを消灯するというものです。

活動結果を四半期ごとに集計し、改善箇所を明らかにしたうえで、安全衛生委員会を通じて職場へ報告し、更なる取り組みの改善を促しました。この活動によって、余剰消費電力を前年度比※約5,700kWh削減することが出来ました。（※実施後の7月～翌3月合計比）

活動結果の報告

2021年度節電取組み 一斉消灯活動の状況報告（10月～12月）

昨年7月から開始した「天井灯の一斉消灯活動」について、10月～12月の活動状況をご報告致します。

	21年度	20年度	差異
10月 第1消灯日	0分消	8分消	△8分消
第2消灯日	1分消	9分消	△8分消
第3消灯日	15分消	6分消	+9分消
第4消灯日	0分消	13分消	△13分消
給与支給日	8分消	5分消	+3分消
第5消灯日	0分消	0分消	-
11月 第1消灯日	0分消	16分消	△16分消
第2消灯日	12分消	1分消	+11分消
第3消灯日	6分消	6分消	△2分消
給与支給日	8分	3分消	5分
第4消灯日(8)	11分消	7分消	+4分消
12月 第1消灯日	0分消	3分消	△3分消
第2消灯日	0分消	1分消	△1分消
第3消灯日	0分消	8分消	△8分消
第4消灯日(8)	6分消	10分消	△4分消
合計	81分消	89分消	△8分消 (△11%)

○実施回数：全15回

○結果

消灯忘れ箇所：合計61ヶ所（昨年同月比：31%減）

→通常の火曜日の消灯忘れ数削減（10月～12月比：69%減）

項目	21年度	20年度	差異
消し忘れ箇所	180ヶ所	513ヶ所	△333ヶ所 (△69%)
余剰電力消費量	896.4kWh	2,879.7kWh	△2,083.3kWh (△71%)

※56/160ヶ所(35%)が、3F高熱(実験室・事務所・通廊)の消灯忘れです。

○課題と対応策

課題：一斉消灯後の通路の再点灯率が低い。

(21年度の一斉消灯日の消灯忘れ61ヶ所中、35ヶ所が通路)

対応策：一斉消灯時に、点灯する通路は建物中央の2ヶ所のみとします。

今後も、節電にご協力の程、宜しくお願い致します

11

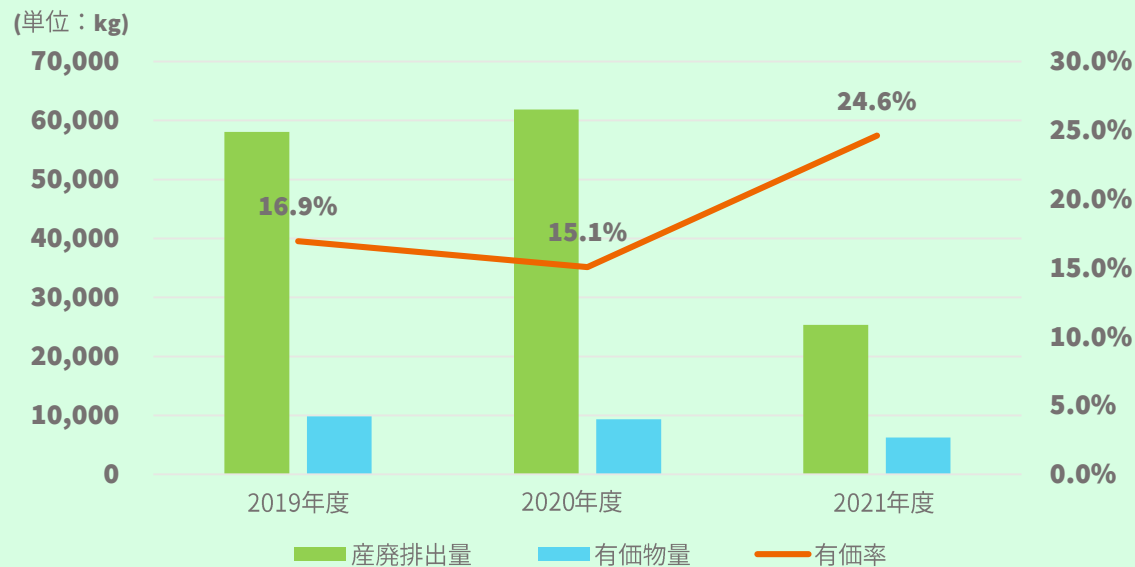
廃棄物排出量削減活動

2021年度は、産業廃棄物排出量に対する有価率24.6%を達成することが出来ました。

主な理由は、まず前2年間と比較して産業廃棄物の排出量が半分以下になったことです。これは、前2年間は事業所内で保守部品倉庫を運用していたことで排出量が多かったことや、2021年度に固定資産の一斉廃棄を実施しなかったことが関係しています。

廃棄物の排出量が抑えられたことで、分解・分別をする時間を十分に確保することができ、有価率を向上させることにつながりました。

産廃・有価物排出量と有価率の推移



※組織改正等の特殊要因による廃棄物・有価物は除外して算出しています。

～活動例～ 有価率の向上

当社は、湘南テクニカルセンターの事業所内に廃棄物の分解専用エリアを設けています。各職場で発生した廃棄物をここに持ち込み、常駐の廃棄業者に分解・分別してもらうことで、有価物を取り出し、廃棄物削減につなげています。2021年は、各職場で発生した廃棄物を直接このエリアに持ち込み、分解・分別率を上げる仕組みを構築しました。

また、各階職場付近に設置されているダストルーム＝廃棄物の一時保管場所では分別をしやすいよう、廃棄物の種類ごとにBOXを設け、更に有価物とそうでないものを簡単に判別できるように掲示物を設置しています。

分解専用エリア



ダストルーム



有価物は赤、無価物は青で色分けされた掲示物



2021年度は、定期的に社内に向けてSDGsコンテンツを発信し、従業員の環境意識啓発及びSDGsに関する理解浸透を図りました。11月に行われたJQAによるISO14001：2015の監査では、この取り組みが、当社の環境活動におけるグッドポイントとして評価頂くことが出来ました。

Sustainable Development Goals=SDGs

～2030年に向けた17の目標～



皆さんは、**SDGs**（エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標）をご存知ですか？

生活の中のちょっとした気付きや取り組みが私たちの未来を大きく変えるかもしれません。皆さんの中で少しでも気づきが生まれ、活動のヒントが得られるよう、全6回にわたってSDGsについての情報を発信していきます。

内容	
第1回	▶ SDGsを知っていますか？
第2回	▶ SNGS（私たち）に関わるSDGsとは？
第3回	▶ ゴミか？資源か？～廃棄物の行方を追う～
第4回	▶ 省エネから広がる世界
第5回	▶ クリーンキャンペーンもSDGs！
第6回	▶ SDGs2021 振り返り

● **Sustainable Development Goals=SDGsとは？**

これからの私たちを含む将来世代が安心して生活するために実現不可欠な、**持続可能**でよりよい世界を目指すための国際目標です。2030年までの達成に向けた**17のゴール**・169のターゲットから構成され、地球上の「**誰一人取り残さない**」ことを誓っています。

📌 SDGsの17のゴールを分かりやすく示した図です。クリックすると、紹介ページをご覧ください。

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を實現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と技術革新の
力をもつくろう

10 人や国々の平等を
もたらそう

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つるき責任
つこう消費

〔SDGsコンテンツ（一部）〕

	内容
第1回	SDGsを知っていますか？
第2回	SNDS(私たち)に関わるSDGsとは？
第3回	ゴミか？資源か？～廃棄物の行方を追う～
第4回	省エネから広がる世界
第5回	クリーンキャンペーンもSDGs！
第6回	SDGs2021 振り返り

当社は、従業員の環境意識高揚と、環境活動を自発的に実践出来る人材を育むために、環境イベントや教育を継続して実施しております。

毎年6月を「環境月間」と定め、トップからのメッセージ発信、その他情報発信とイベントを開催し、従業員の環境意識向上を図っております。今年のテーマは、「環境意識の一人ひとりの自分ゴト化」でした。

- 環境月間HPによる情報発信
- 社長インタビュー
- 電力実績・産業廃棄物実績の報告

■環境アクション

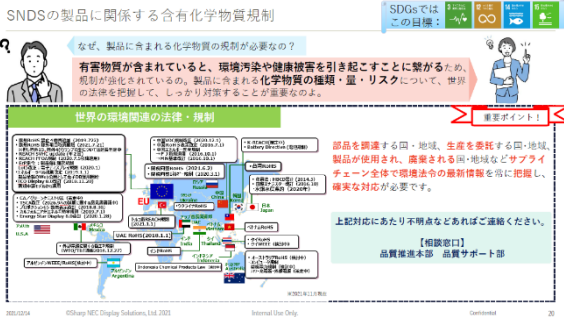
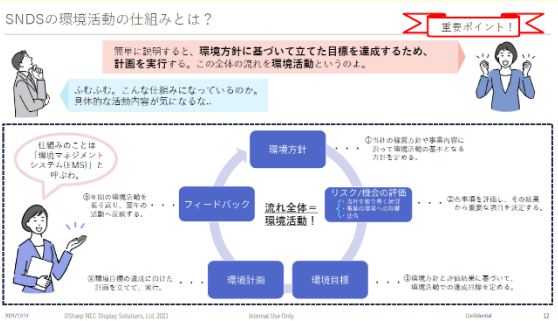
環境アクション テーブル

週	環境アクション	テーブル
第1週	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める
第2週	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める
第3週	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める
第4週	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める	環境月間HPにアクセスし、環境意識を高める

今年のテーマに沿って、気軽に取り組める環境に配慮した行動を毎日更新していきました。

毎年1回役員も含む全従業員を対象とした環境基礎教育を実施しています。また、新入社員・中途採用者・派遣受入社員の入社時に環境基本教育を実施し、環境意識の定着化を図っています。

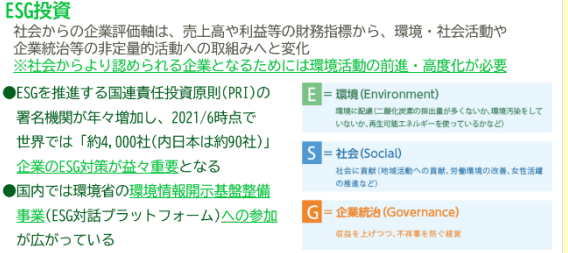
■従業員への環境基礎教育



■新入社員等への環境基本教育



企業の環境活動への要求／関心の高まり



酒匂川のそばに事業所を構える企業として、当社は地域貢献及び従業員の環境意識向上を目的とし、NEC湘南テクニカルセンター近辺の清掃活動を毎年行っています。地域（大井町）主催の酒匂川統一美化キャンペーンへは、毎年参加します。更に、近隣の高校と共同開催によるクリーンキャンペーンを年に2回実施しております。こうした清掃活動は、本事業所が開設してから27年間※継続して実施しております。

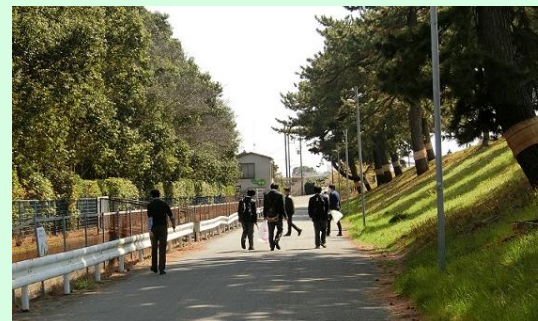
（※2020年3月～2022年3月においては、感染症拡大防止のため、いずれも中止致しました。）



大井町主催行事
酒匂川統一美化キャンペーンへの参加
従業員の家族も一緒に参加しています。



（写真は、2019年度実施時のものです。）



近隣高校との共同開催
（クリーンキャンペーン）
共通の通勤/通学経路を
ごみを拾っています



（写真は、2018年度実施時のものです。）

ご質問／ご意見等をお寄せください

ご質問／ご意見等がございましたら、お手数ですが
下記のお問い合わせ先からお寄せください。

■発行元

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社 経営管理本部

■所在地

〒258-8533

神奈川県足柄上郡大井町西大井686-1 NEC湘南テクニカルセンター

■本報告書の対象範囲

・対象期間 2021年度（2021年4月～2022年3月）

■発行年月：2022年8月

■お問い合わせ先

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/contact.html>

「その他、シャープNECディスプレイソリューションズに関するお問い合わせ」よりお願い致します。

■弊社ホームページ

日本国内向サイト <https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>

グローバルサイト <https://www.sharp-nec-displays.com/global/>

SHARP / NEC

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社